

苦小牧市美術博物館の
魅力を伝える

びとこま

第13号
2014年12月

三代豊国とは戦国画の
ことです。今回、展示されている浮世絵は、
三代豊国が、歌舞伎役者たちを描いたポスターのよう
なものです。これらの浮世絵は江戸時代後期の作品で、
この頃、ヨーロッパから入ってきた「ベロニカ」と呼ばれる
青い絵の具が使われています。青の鮮やかさに
気づいたかな？ 背景の波を見てみて！
江戸時代、浮世絵は幕府が
安心だけじゃなく、見た目もみんなが
見てわかりやすく楽しめるものだった
よ！大げさなドラマチックなデザイン
は、今見ても難しい説明なしに
目がひきつけられるよ♪
(橋田学芸員)

誠忠義十傳「夜半の怪談」
浮世絵は江戸時代「庶民が楽しんだもの」。その頃は、
「おぼろ」や「おぼろ」のポスターのようだったんです。
江戸時代「起った赤穂事件を元にした」
物語に登場する人々を描いた浮世絵などを見ることが出来ま
す。浮世絵「赤穂事件」について学べる展示です。(的場翔)

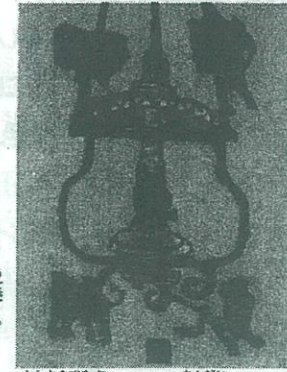
苦小牧市美術博物館では、十一月十五日から
十二月十四日まで「浮世絵の魅力 三代豊国
誠忠義十傳」を開催中。

浮世絵は江戸時代
から伝わる日本の文
化でもあり、世界に
知られているものは
少ないです。
浮世絵は木の版画
木版画なんです。木
のなかでも桜の木
を使っていきます。私
たちが作る木版画は
白黒ですね。でも浮
世絵はカニフルでわ
かりやすいんです。
何度も重ねて、色を
変えたり返し刷れ
ば、完成となります。
(浜明日美)

あみゅーにおいでよ! 企画展

苦小牧の美術史 —苦小牧美術協会とその歩み—

12/23(火・祝)から企画展
「苦小牧の美術史—苦小牧美術
協会とその歩み—」がはじまりま
す。苦小牧美術協会は、苦小牧
の美術文化発展のため、1939年
に設立された美術団体です。遠藤
ミマン(1913~2004)、鹿毛正
三(1923~2002)、能登正智
(1922~2001)といった苦小牧
を代表する画家たちが参加し、作品制作に情熱を傾けてい
ました。また、戦火を逃れ、白老に移り住んでいた川上澄生
(1895~1972)も会員と
して参加。全国的にも有名な
版画家の参加は、戦争の影響
で中断していた美術協会の
再スタートに勢いを与えまし
た。



川上澄生(ランプ三題(1))
1946年 当館蔵



遠藤ミマン(赤い帽子と馬の鞍)
1975年 当館蔵

この展示会では、そうした
苦小牧の芸術の発展に力を注いできた美術協会に關係の深い画家たちの作品
約60点を紹介。その歴史的な意義についてふりかえります。(学芸員 細矢久人)

会期と開館時間： 12/23(火・祝)~1/25(日) 9:30~17:00 ※最終入場は開館の30分前まで
休館日： 毎週月曜日(月曜日の場合その翌日)、年末年始(12/29~1/3)
観覧料： 一般300(240)円、高大生200(140)円、中学生以下無料 ※()内の料金は10名以上の団体料金
※年間観覧券での観覧可。※あわせて常設展も観覧可。※観覧料免除規定あります。ご相談ください。

びとこま第13号
発行日： 2014年12月
製作： 苦小牧市美術博物館 ども広報部、NPO法人榊前artyプラス
取材： 荒井 楓、荒井 聖、伊藤 なつみ、菊池 りの、亀井川 菜、
熊谷 陽奈、熊谷 理菜、黒滝 直人、中村 創介、中村 風香、
浜 明日美、本多 こころ、的場 翔、麦島 怜奈、山田 愛佳、
山田 和佳、山本 舞羽
編集： 小河 けい(NPO法人榊前artyプラス)
発行： 苦小牧市美術博物館
(お問合せ) 〒053-0011 苦小牧市末広町3丁目9番7号

イベント☆イベント

- (1) ワークショップ+成果展示
「遠藤ミマンのロマン!キラキラの未来!」
①ワークショップ
苦小牧美術協회를リードした遠藤ミマンが初
代校長だった美園小の簡伐材にアルミテープを
貼りつけてキラキラ輝くオブジェをつくりま
す。
日時： 12/23(火・祝) 14:30~16:00
講師： 藤沢 レオさん(金属工芸作家・彫刻家)
定員： 30名
申込： 苦小牧市美術博物館 (0144-35-2550)
②成果展示
苦小牧の美術史展で行ったワークショップ
と、「トヨタ・子どもとアーティストの出会い」の
一環として実施された「北海道アーティスト・イ
ン・スクール事業 in 苦小牧~たるまる学校~」の
成果作品を合同で展示します。
期間： 12/25(木)~28(日)
9:30~17:00(最終日は15:00まで)
会場： 苦小牧市美術博物館 研修室
(2) 講演会「苦小牧美術協会とその歩み」
日時： 1/10(土) 14:00~15:00
講師： 内瀧光尚さん(苦小牧美術協会 会長)

(V) 協力をお願い(V)

「苦小牧市美術博物館ども広報部」の記者
カードを提示された方は、
取材へのご協力を
お願いします。疑問点や
等は、美術博物館
までご連絡を
お願いします。
編集長 おごちゃん



展示を見に来ていた
お客さんたちにお話をきいて
みました!

(山田和佳)

展示のことは
新聞で知ってきた。赤穂事件の
ことはテレビドラマなどで見て
知っている。四十七人の絵は全部、
心を打たれる。



この絵を見に来た。
どれもこれも好き。
赤穂事件のことはちょっと知っている
けど、事件のことより絵が好きで見
に来た。色づかいがとってもきれい。
赤と黒がきれいだった。

浮世絵をじっくり
見たことがなかった
から、見に来た。

全部の絵が好き。
色づかいがとってもきれい。
こんなにきれいだと
思わなかった。



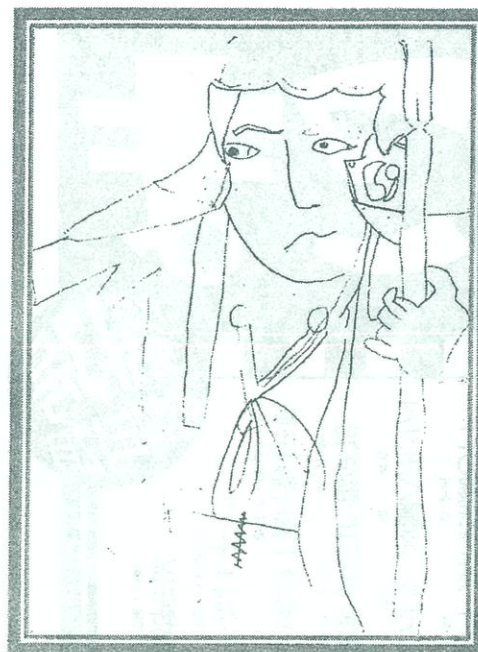
浮世絵は、
下絵を描く人、絵木を彫る人、
紙に刷る人、完成品を売る人など、
それぞれ専門の人が仕事を分担して
作っていたんだよ。今でいう
プロデューサーのような人もいたよ。
藤川蘭英は下絵を描いたんだよ。
(福田学芸員)

浮世絵には、
役者絵だけでなく、風景画などもある
けれど、蘭英は歌舞伎役者を
描くのが得意だったんだって。
工夫された構図は紙から飛び
出しそうなおどろきだったよ!
(おごちゃん)



浮世絵のなぞはまだまだありますが、
実は、実際に美術博物館に来い、
みんなが考えてみてほしい。

私は吉良上野介義央の版図を見て、すごいと思った
ことがありません。細かいことです。それは版図では
思えないほど、きれいで、どっぴりが細かく、すい
ていいでした。私が「うーん」と思ったこと
も、あんなにきれいに細かくてきかないからすごいと思
いました。
そして、不思議に思ったことがありません。それは、
どうやって、あんな細かい構図を彫ったのか
不思議だと思いました。
私は、もっと版図を見てみたいと思いました。
(木谷JUN)



顔や手などの形が
特徴的だね。写実のようにそっくりに
描いているのではなく、大げさにしたり
しているね。いろいろな人を描いてい
けれど、面白い描き方をしているから、
どれも似た感じがするかもしれないね。
(福田学芸員)



私は浮世絵を見て、細い目が気になりました
した。なぜかというところ、今の人は目がくっきり
しているのに、歌舞伎役者を描いた浮世絵など
では細い目をしています。
浮世絵に描かれている人が若いのも不思議だと
思いました。若い人にもいましたが、ほとん
どの人が若いのです。それが不思議です。
赤穂浪士たちの服装も気になります。江戸時代の消防士
の格好だそうです。消防士の格好をするので、敵討ち
の計画をしていることをカモフラージュしていたそう
です。(中村風香)



あみゅーにいったよ! あみゅーにおいでよ!

浮世絵の魅力

三代豊国 誠義士傳

大石内蔵之助良雄という人が、となりの絵など
より、服装がかっこよいです。
絵の中の「う」「ん」「は」「ん」
「ほ」「へ」と「が」があったのが、
とてもびっくりしました。
少し不思議だったのは、目が
より目なところ。まねをしてみようとしてみ
てみましたが、
たからです。
(黒滝直人)



アーティストがやってきた!!

樽前小の空き教室がアーティスト藤沢しおさんのアトリエになり、豊川小と拓進小と美園小ではしおさんが図工の授業をしました。

樽前小では、休み時間や放課後にしおさんのアトリエに集まった1年生から6年生が、捨ててしまうようなものをキラキラ光る色紙で装飾。

豊川小では1年生と2年生がキラキラ光る雲を切り取り、拓進小の4年生は美園小の間伐材で面白い形のモニュメントを作り、美園小では校内で間伐した木で3年生が不思議な生き物を作りました。

12/23(火)には、これらの作品をば〜んぶ〜めて、12/25(木)〜28(日)苫小牧市美術館の研修室で展示します!!

これらの作品をば〜んぶ〜めて、12/25(木)〜28(日)苫小牧市美術館の研修室で展示します!!



4月〜5月の活動は「トヨタ・子どもとアーティストの出会い」の一環として実施された「北海道アーティスト・イン・スクール事業 in 苫小牧〜たるまる学校〜」のプログラムです。苫小牧市の学校にアーティストがやってくる活動は、これからも続く予定です。来年は、君の学校にアーティストがやってくるかも!

北海道アーティスト・イン・スクール事業 in 苫小牧〜たるまる学校〜の↓詳しい情報はコチラを見てね↓
アーティスト・イン・スクール〜学校生はアーティスト〜ブログ
<http://inschool.exblog.jp/>
↓お問合せはコチラにメールください↓
樽前arty プラス info@tarumae.com

浮世絵の魅カ 三代豊国/歌麿士傳

赤穂事件とは、江戸時代に江戸城の松之廊下で播磨赤穂藩主だった浅野内匠頭長矩が高家旗本だった吉良上野介義央を切りつけたことで、浅野内匠頭長矩が切腹することとなり、その家来たちがしかえしに吉良邸を攻めたというものです。(的場翔)

浮世絵を見ると、太鼓を持つ人やロウソクを持って明るくしている人がいた。何をやるか、係がいつぱいあったんだと思った。

寺坂吉右衛門信行さんは、なんで一人だけ生きていたのかが不思議。(中村創介)

展示されている忠義士の浮世絵には「い」「ろ」「は」「は」「は」「は」「は」「は」と順番に番号がついていますが、四十八番目の人だけ「い」ではなく「京」となっています。当時、敵討ちは禁止されていたので、仇討ちが終わった後、仇討ちに加わった人たちは罰として切腹することになりますが、その「京」となっている人は、切腹の前にいなくなったと伝えられている人です。(亀井川葉)

浅野さんは、吉良さん「とっせん切りかかって、悪いことなのに、なんでそんなことをしたのかな?」(熊谷陽奈)

「忠臣蔵」といって、

知っている人もいないかもしれません。

「忠臣蔵」は、この赤穂事件をモデルに作られたお話で、とても人気があり、昔から、歌舞伎や映画、テレビドラマなどで演じられてきました。今回、展示されている浮世絵も赤穂事件を元に作られた歌舞伎が題材になっています。(福田学芸員)

